

大腸切除術を受けられる患者様へ


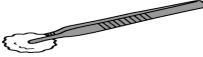


(No. 1)

患者様用

患者様氏名:

受け持ち医師:

受け持ち看護師:

項目	月日 入院当日～手術前々日	手術前日	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目	手術後4日目
達成目標	・手術について理解し、同意している。 ・手術の準備ができています。			・全身状態が安定している				
治療・薬剤 (点滴・内服) ・処置 ・リハビリ	 ・入院前に内服していた薬があればお知らせください	()時から下剤の内服があります 腹部の毛剃り、お臍の処置をします ()時に薬の内服があります	()時に薬の内服と痛み止めのテープを貼ります 手術の開始時間は ()時頃です	手術中、鼻より管(胃管)を入れます 手術後より酸素マスクを着用します(翌朝まで) 点滴をします	背中(背中の痛み止めのチューブ)を抜きます 			
検査				採血とレントゲン検査があります			採血とレントゲン検査があります	
活動・安静度	自由に動くことができます			ICU(集中治療室)に入ります ベッド上で安静となります	点滴台を押して病棟内を自由に歩くことができます		点滴台を押して病院内を自由に歩くことができます	
食事	医師の指示があるまで、朝からお食事はありませぬ。21時から水分も摂れませぬ。以後、絶飲食です。			検査の結果でお水が飲めます(500ml/日)		・状態に合わせて食事が始まります		
清潔	入浴	午前に臍の処置と毛剃りを行った後、入浴します						
排泄			洗腸後排便があればお知らせください	手術室で膀胱カテーテルを入れます	膀胱カテーテルを抜きます 尿量を測定します			
患者様及びご家族への説明 栄養指導 服薬指導	主治医から入院治療計画・手術の説明があります 看護師から入院生活と手術についての説明をします 持参薬を確認させていただきます	手術に必要な物品や書類がそろっているか確認します 麻酔科医の診察があります ICU(集中治療室)・手術室看護師の手術前訪問があります	手術開始から手術終了までご家族には控室でお待ちいただく必要があります。手術時間は前後の手術の関係上変更することがありますが、その都度お知らせします ご家族の方は手術開始30分前にはご来院下さい。	手術後、主治医からご家族に手術の結果の説明があります 麻酔から覚めたら深呼吸をしましょう 痛みが強い場合は痛みどめを使います 手術後24時間以内は状態変化しやすいので1～2時間毎に状態観察します				

大腸切除術を受けられる患者様へ





(No. 2)

患者様用

お名前

受け持ち医師:

受け持ち看護師:

項目	月日 手術5日目	手術6日目~7日目	手術後8日目~9日目	手術後10日目~
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 創痛のコントロールができる 創部・ドレーン排液に異常がない 経口摂取ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ドレーンの抜去ができる 		<ul style="list-style-type: none"> 排便コントロールができる 全粥または常食の摂取ができる 発熱・腹痛がない 退院後の生活について理解できる
治療・薬剤 (点滴・内服) ・処置 ・リハビリ	適宜、ガーゼ交換を行います  点滴をします 内服が始まる場合があります	経過をみてドレーンを抜きます		
検査	採血の検査があります			
活動・安静度		病院内を自由に動くことができます		
食事		食事形態は全身状態に合わせて変わっていきます		
清潔	お身体を拭きます 			シャワー浴ができます
排泄				
患者様及びご家族への説明 栄養指導 服薬指導			栄養士から食事についての説明があります ご都合のよい日時をご家族と相談してください	退院までにパンフレットを用いて退院指導行います  退院時に次回の外来予約、退院時処方をお渡しします

退院基準

※この計画書は診療の概要を記したものであり、状況に応じて変更することがありますのでご了承ください。
 ※不明な点があれば、遠慮なく担当医又は看護師にご相談ください。